

# 宮崎善仁会病院 リウマチセンターニュース

第 27 号(2024 年 6 月号 [2024/6/9 発行])

リウマチ科に通院中のみなさんは、いかがお過ごしでしょうか？そろそろ梅雨入りで湿気の多い日が続きます。体調管理には十分注意しましょう。本号では、前号の骨粗しょう症治療薬であるビスホスホネート製剤([BP 製剤])の話に引き続き、これ以外の骨粗しょう症治療薬、特に、骨を壊す細胞の働きを弱めるお薬の SERM 製剤、カルシトニン製剤、抗 RANKL 抗体製剤についてお話を致します。

## SERM 製剤

SERM は選択的エストロゲン受容体調節薬といい、閉経後に減少した骨を増やす『エストロゲン』のバランスを調整し、骨量を増やして骨粗しょう症における骨折などの危険性を低下させる薬です。まず、ラロキシフェン(エビスタ®)が最初に発売され、背中の骨(椎体)の骨折抑制効果が報告されました。更に背骨以外の骨折の発生率を低下させることで、より有効とされるバゼドキシフェン製剤(ビビアント®)が発売されました。

副作用として、皮膚症状(発疹、かゆみなど)、循環器症状(ほてりなど)、乳房症状(乳房緊満、乳腺症など)が挙げられます。頻度はまれですが、注意する副作用として静脈血栓塞栓症、肝機能障害などがあります。静脈血栓塞栓症の症状として、下肢の痛みやむくみ、突然の呼吸困難、息切れ、胸の痛みなどがあります。また重症な肝機能障害の症状として、全身のだるさ、食欲低下、発熱、黄疸(からだは黄色くなる)などが生じる可能性があります。この様な症状が続く場合は放置しないで、主治医や薬剤師に連絡するようにして下さい。

## カルシトニン製剤

カルシトニンとは、1962 年に発見された比較的新しいホルモンで、喉ぼとけの少し下にある小さな臓器「甲状腺」から分泌されます。血中カルシウム濃度を低下させ、さらに、腎臓から尿へとカルシウムが排泄

されるのを抑え、骨にカルシウムをとり込んで「骨の形成」を促進し、また、「骨の吸収(骨が溶ける状態)」を抑える作用もあります。カルシトニン製剤はこのようなカルシトニンの働きを利用した注射のお薬です。骨密度を上げる力は強くありませんが、痛みをやわらげる強い鎮痛作用が認められています。骨粗鬆症の痛みには、週 1~2 回、4 週間くらいの頻度で筋肉注射をしていくのが効果的です。副作用として、投与直後に顔が紅潮したり、アレルギー反応を起こしたりするケースがあります。骨の密度を上げる効果を期待するには、適量のカルシトニン製剤を 1~2 年の長期に使用する必要があります。

## 抗 RANKL 抗体製剤

抗 RANKL 抗体(一般名デノスマブ、プラリア®)は、骨を壊す過程(骨吸収)を亢進させる RANK リガンド(RANKL)という物質の働きを阻害して骨量などを改善する薬で、抗 RANKL 抗体製剤と呼ばれます。RANKL という体内物質は骨を壊す細胞(破骨細胞)の形成や機能などを促進しますので、本剤は RANKL を阻害し破骨細胞による骨吸収を抑制することで骨量などの改善作用をあらわします。通常、デノスマブとして 60mg を 6 ヶ月に 1 回投与します。副作用として血中のカルシウム値が低下することがあるため、通常はカルシウム及びビタミン D 製剤を併用します。

その他の副作用として、皮膚症状(湿疹など、まれに蜂巣炎)、消化器症状(口内炎、口腔ヘルペス、上腹部痛など)が挙げられます。まれな副作用として、低カルシウム血症(けいれん、しびれなど)、非常にまれな副作用として顎の骨の炎症(顎骨壊死)すなわち、歯肉の痛み・腫れ・炎症、歯のぐらつき、顎のしびれなど症状があらわれることがあります。この様な症状がみられた場合は放置せず医師や薬剤師に連絡するようにして下さい。

このお薬は、骨粗しょう症以外に、多発

性骨髄腫などに使用されることがあります。更に、関節リウマチの関節破壊(骨びらん)を抑える効果を期待して、関節リウマチ治療にも使用できるようになっています。(日高利彦)

### 「日高利彦医師が「Best Doctors in Japan 2024-2025」に選出されました

ベストドクターズ社は米国に本拠を置き、世界各国で病状に応じた適切な治療やセカンドオピニオン取得のための名医紹介などを行っている会社です。

ベストドクターズ社の名医選出方法は、膨大な数の医師に対して、「もし、あなたやあなたの家族が、あなたの専門分野の病気にかかった場合、どの医師に治療をお願いしますか？」とアンケートを行い、その中で治療能力、研究結果、最新医療情報への精通度などを考慮した上で、ある一定以上の評価を得た医師を名医 (Best Doctors) と認定するというものです。

今回も、当院リウマチセンター所長日高利彦医師が、「Best Doctors in Japan 2024-2025」に選出されました。2012年からの14年連続での選出となりました。更なる活躍が期待されます。



リウマチセンターニュースのバックナンバーの必要な方は当院の職員に気軽にお尋ね下さい。  
なお、当院のホームページでもバックナンバーを確認出来ます。

([https://www.m-zenjin.or.jp/publicity\\_cat/publicity\\_1](https://www.m-zenjin.or.jp/publicity_cat/publicity_1)) (QRコードは下記の通り)

